



③ 日の当たる通学路になりました！

大崎町建設業同志会（会長：岡留政志さん）、大崎土木会（会長：谷口俊秋さん）、大崎電友会（会長：大野弘文さん）は、6月15日（土）、3団体合同で町道『中山三年堀線』の伐採ボランティアを実施しました。

町道『中山三年堀線』は、来年4月からスタートする新生『大崎中学校』のスクールバスの通過路線にもなっていることから、通行する際に木の枝がバスに接触する恐れがあるため、大崎電友会会員の高所作業車を利用した作業となりました。

この日は、36社43人が参加し、東靖弘町長は、「高齢化が進んできて、高所への管理が難しくなってきましたので、非常に助かります。熱中症にならないよう水分を取りながら作業をしてください。」と感謝の言葉を述べました。

なお、今回初めて3団体での合同作業となりました。



① 農地を守るために！

5月26日（日）、ライオンズクラブ国際協会337-D地区鹿児島R.10Z（ゾーン・チェアパーソン：川越俊作さん）は、昨年、防風林として植栽した2,000本の松の下払い作業を実施しました。

この日は、会員や行政関係者ら24人が参加し、草刈り機や鎌などを持ち寄り松の周りの生い茂った雑草を刈り取りました。

② 持留川をきれいに！

5月28日（火）、大崎土木会（会長：谷口俊秋さん）は、持留川の河川堤防の法面伐採ボランティアを実施しました。

作業は、時より雨が降る中で行われましたが、16社から18人が参加し、第2大橋から迫下橋までの左岸側約600mの雑草を刈り取りました。